

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年)

## 2. 分野等別状況 (2) 地域活性化総合特区 ③アジア分野(2/5)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
未来創造「新・ものづくり」特区(静岡県浜松市)	正	A 4.6	A 4.5  進捗度 ・農業参入した企業による耕作面積増  136%  ・企業の新規立地件数  125%  ・新規立地に伴う雇用増  93%  等	B 3.6  規制の特例等 ・市街化調整区域への企業立地に係る農振法・農地法のガイドラインの弾力的運用  地域独自の取組 ・市独自の企業立地促進支援事業  ・市独自の固定資産税・事業所税に対する補助制度等	+0.50	<p>・様々な取組みを通じて、農業分野・工業分野ともに企業の新規参入(※1)が認められ、特に、より付加価値の高い製品の生産拡大や雇用の増大が見られることは高く評価できる。</p> <p>・市独自で企業立地を促進する補助金制度(※2)や固定資産税・事業所税への補助(※3)等を設け、また、企業の農業参入推進策や耕作放棄地対策、農地集約促進対策、農業振興エリア整備等の支援措置を講じており、市の目指す「農業と工業のバランスある両立」を図りながら、着実に新産業の創出と集積産業の維持・発展に努めている。</p> <p>・なお、コスト・ベネフィットと言った点にも配慮が必要である。</p> <p>※1: 特区の評価書において、「農業参入企業数は地元企業を中心に全国トップクラスの37法人、合計の耕作面積は60.0haとなっている。」と記述されている。</p> <p>※2: 市独自の企業立地促進支援事業により平成25年度に新たに立地・事業規模拡大した13社に対して補助金が交付されている。</p> <p>※3: 過去5年間に新規立地・事業規模拡大した35社に対して補助金が交付されている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

\*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。